組合の楽しい便り 投稿歓迎します

東京都ラベル印刷協同組合

みなさんありがとう 全日本シール印刷協同組合連合会

第56回年次大会『東北福幸大会』

憂111-0051 東京都台東区蔵前 4-16-4

No365

平成 26 年 11・12 月合併号 編集:広報・情報システム委員会 TEL(3866)4561 FAX(5821)6443

開 催 JFLF 全日本シール印刷協同組合 れま

宮日十 合 員 城に六全 県 回 日 会 東年本 南 友。 北 次 陸 シ大 協 町 - [会 ル 賛会 のル 印 東刷 など ベ北協 木 ル 福 同 ル印 幸組 二〇名が 観刷 大合 洋協 会 同 合 で 組が 会 合 主 加全 の十催 玉 担 月 の 当 か で十第 b 四五

あ

0

た

 \mathcal{O}

も強

のい

わ

ŋ

で

0

全 五 回 復興(福幸)した姿をアピ 年次 一〇名が 大 会東 北福幸大 加 成 功

あ 何 多 合 ぶ時道正 \mathcal{O} 直 う い出 ま

期 の昭 歓たの 組 り 理 迎 は 事 \mathcal{O} 合 運 平 長 挨 営 坦は 拶 そ で に のは <u>\f\</u> ŧ ま \mathcal{O}

た、

来

賓

を

表

L

7

東

業

局

の長

L

言 なの と < 員 て ま P 葉 気は 再 かの れ 全 を国 持 協 本し ス 新 励 ま た。 述 当 タ カュ 5 東 ま 賛 ベ 6 だ に] た 北 11 会 との良組 が の様来次ま \mathcal{O} 道 Þ \vdash \mathcal{O} 支思組か を 支 方 L 合 す る い合 に 切 援 にま 員た 入 り を 0 لح 感す \mathcal{O} 開 戴 5 謝 正い が き て 11

大味おま会た援 全 を か 国 もか で 込げ に担 で のが で復 当 根組 危 はめ く組も合述 会 の功 連 長 辺 気 北 てれ合 な監 組 労 な] \mathcal{O} 所 仙 経 ベ 合 田 賞 Ŀ 者 숲 中 神 沼済 事 た 合 ル 長)の鈴 者 ま し存喪 顕 報 戸 産 員 祐が印 地 が彰告連祝 刷 常 たた在 を 日 方 木 表彰された。表彰され 代 B が感震 表がに 辞 協 務 本 振 芳 彰 理 印 興 つ 仲 勇 に災 表 を 典 て 守 代 間 気 襲 で 述 会 事 刷 事 氏 をわは て れれ て 務 ベの 根 産 務 本 4 \mathcal{O} 業 所 局

がつ組をた名合のた会本合渡

れ長はい台のも大東成 な震 う 駅 開 北 か 催 0 災 + 地 ク た ら に 方 セ は 宮 意 \mathcal{O} を 城 のの ス が県徴 月 0 悪 で あ 南的 る な 時 と 陸場 東 日 前 間 に 町 所 日 \mathcal{O} لح 本 兀 平 仙 で に な社が上な \mathcal{O}

挨 ま拶 L 福 _ 続 たし 皆 幸 L 1 ま さ 大 T لح L W 田 た主 \mathcal{O} 中 ていー 身情会 熱長 L 結が代 てび東行

界 だ \mathcal{O} L 福 たろう た。 カゝ 実 を 5 現 感 かに じ 近 づく 力 福 強 幸 < はの 福 挨 我 で で す ず 々

ま 会 幸げ لح 発 な り、 展 に 5 0 れな るが 全れ れ体が ばの大 皆 底

渡 た 開 邉 会 場 で 渡 理 催 邉 さ 事 で \mathcal{O} ま北が

(東 ょ 声与 れ と 謝 ま 理 ま大 全 う 北 を え たて 辞 L 四組事 し内日連

5

لح に

出年

る大

 \mathcal{O}

は が

 \mathcal{O}

て

汳

j L が 参 加 者 \mathcal{O} 胸 を 打

イ Bestジ 進 ル で が 7 和 は ベ コ 授 ル ラ 与 コ テ $Best \rfloor$ さ 印 \vdash Щ ま 五ス 刷 最 口 1 山 た。 高 \vdash 世の 形 賞 口 界 表 と フ \mathcal{O} ラ

産の彰ル 式 ら ラ で ベ は 第 ル コ + テ 産 ス 口 大 1 臣 \mathcal{O} 賞 表 1

がプの 東 表 北 彰 協 組 青 ま 年 部 長 \mathcal{O} 高 橋

う。 が氏 り が 本 改 大 め組 7 合 の必 員 名 要 相 な 互. \mathcal{O} だ 絆 7 لح 大 軽 \mathcal{O}

力 大シ思繋稔 大 切] さ を 致 会 せ 発 に ル 官 で 7 揮 業 界 言 シ V] を < こと 読 絆 ル ま 界 業 4 上 宣全界 たげ 言 体 す をの 満 る発底を さ地ペカ

IJ シ ンモ さテ ク れィ 礼 グ 幌)、 (東 京) サ かな、 1 تلح 喝

の会 繋に 人がお時 りい れを が ン 翌 い 三 巡 行 1 日に 味

る最 で長大 後 に で \mathcal{O} る

おが阪 「 協 次 採 辞 い来組回 年のの ま十永担 月 井 当 典 よ九謙協 は 日太組 に良 らに に 素東れは当 い晴北た程

閉 阪

> 町 講 لح \mathcal{O} 懇 演復佐 親 を 興 藤 挑 長 立 安 戦 が 0 心 て $\overline{}$ لح 被 L 7 題 災

۲ 陸 たの と めた 町 いかの る L を 楽 町な ま L が が 完 どう た 6 を 全 4 見 にに 復 変 に 復 し 力興 来 興 て わ L 計 て て しい 0 画 いの た た て ほ だ L 南 V < 基 き 本 住 11

学 踊 懇 訴 さ 校 ŋ < _ か親 1 \mathcal{O} え を 生 を 5 会 ま 徒 気 伝 浴 で L 仙 はた び が わ 披 ま る 沼 L 露 市 気 た、 早 仙 L 立 月 稲 沼 拍立谷市

手小鹿で

印

刷 内

粘 彦

メ

]

昭用

会

大

会 着

長 紙

は

月 1 精

省 英

商 堂

報

政

策

局

賞 済

長 経

務印

情 刷

山

形

音 晋 吉 頭 道 線 田 で 順 さ 参 \mathcal{O} 演 加 元 W 奏 兄 者 理 な 弟 全 事 ど 員 に 長 Ł ょ が \mathcal{O} ある乾 乾 り 津 杯 杯

をに

い日

てに、関

員し

社 臨

議会

議協総十力

会 催

散各た

決の時

開

経 於 +

て

同

会

 \mathcal{O}

解

を

がる わ IJ は盛 れバれ 1 ŋ 上 き ス 倶 ゴ ツ \mathcal{O} 楽 ル が 観 Щ T 光 部 フ り 1 組 ま が 組 に まがは T L は さ復をだ企被 コ 利 た 目い画 災 府

よ遠 1) ういに ろ L に 大皆 残 さた。 会 を る ん、 実 現 を ま 有 感 だ 状 難本 せ興 用く るン で L

印刷用粘着紙メーカー会 30年の歴史に幕引く

臨時総会で解散決議

等 、 集出 ま CSR して、公 いき幅開 メ 公荷 的 な + L 統 た に 発 年 Ì た。広 計規展 力 < に格 に わ] 関 寄 \mathcal{O} た 会 界 規 統 与 す 0 は る 7 活 格 す 発 動 へ 情 業 界 足 の報過 を の以 لح 展 参の 去 開画収の を 健 来 なの き

目 全 三

は公 中ス 正 取 経 引独の 占 委 重 近 員 禁 要 コ年 会 止 性 経 の法がプ 済 規 に叫ラ界 制基ばイ全 づれア体 お運 題 将 変 時

さ

を

増

L

て

て

配

解

き が法た 要 求た 7 さめは れの以 活 る慎前 重に を う ŧ) な に取増 な り る l つ組 7 てみ 当

う ŧ 談 容 寸 状 証 異 た公頻に規 官 が 制 た 方 庁 を す な 正 に 体 況 同 \otimes 繁 踏制 で 進 \mathcal{O} ま あ み分た 策の般行 と を会 る るに 0 な に 2 当 لح 指 し 踏 異は 競 み切局 野 に 社 211 必 0 最 導 寸 た 7 7 ま L 要 文 争 6 る が 7 例 で 0 近 経 え、 て 業 11 \mathcal{O} 法 ほ あ が化 秩 れ 違 ŧ え Ł で 域 法 は生 自 7 下 人 カゝ 済 る \mathcal{O} 界 序 る 世 ゲ لح 視 界 ŧ 産 ベ 改 じ 慣 を 外 国 口 に ょ 検 活 L 総 業 き \emptyset 7 点 習 維 う 滴 主] バ 争 省 き に用 討 動 T 務 活 て で の持 て で れ 主 業 らたも全 国のル法 を 省 に 動 す な 摘 l < て行務 界 りが発の行化規 に相内 \mathcal{O} 検

来 化 代 る 活 し の恐動か 起 に し て趨 きお れはし 7 いお勢 は 何 は 7 n はな b 現 著い法 な法 時 ら規万し に的 点 な制 がい 速 て問の い上 とのにさ ŧ 題同 たの問も لح 会 で

Ł 0)

とな \Box 7 さ 陥 者 法 下 で ŧ せ 原 あ \mathcal{O} が < 請 お \mathcal{O} 代 6 材 な ŋ 取 末 苦情 越 東 金 引 け れ 料 ま を たし、 等 代 京 を \mathcal{O} で す 迎 < 都 払 を 木 る 事 金 は 下 え 支 だ 取 業 強 返 カコ な 0 0 7 払 さ ど てく 品 引 者 期 制 て 躊 親 遅 \mathcal{O} 日 的 業 を \mathcal{O} 躇 さ 1 事 下 延 相 れ を る 者 す に 物 公 れ るこ 正 な 過 購 \mathcal{O} 請 等 談 た 利 な 事 防 窓 V ぎ 欠 لح す が 強 止 延 日 る 関 \mathcal{O} ること)の

利

息 日 定 務

支 ょ \Diamond 3 書

払

義

務

等 た 4 金 成 下

が

あ 合

期 を

り る

遅

れ

場

りの支

止 2

の請代

止金の

返 ③

品下

禁 代

買減

た禁

連

(5) \mathcal{O}

11 額

定たの

物

品 た

受

け

取

り

拒

否

 \mathcal{O}

下

請 \mathcal{O}

金

支

払

遅

延

 \mathcal{O}

遣 印

業 刷

務 業

を

東 に

京 特

大 L

阪 た

で 人

ス

タ

界

化

材

派

ま

禁

止

行

為

とし

て

は

制

禁

止

7 報

復

措

置

禁止

6

購

入

利

禁用

代 4

金

を

不

当

に

低

<

サ専グ

下請適正取引を支援します!

親事業者との取引で困っていませんか?

下請代金支払遅延等防止法のしくみ

ル ... く こ 約 ポ に 5 を で ることです。 1 を 事なことは で ラ が な イ し 相 束 きる < لح 後 書 ブ 起 か を きな すことが 日 面 \vdash ル は す 守る」こと ささら だけ は、 を 回 ・ラブ ること \mathcal{O} に 書 紛 そ 争、 き 契 ル に 避 ょ \mathcal{O} 早ル うに 表 約 契 大切 目 1 す 前 が < が 書とは 約 的 る L で \vdash ル に 大 行 起 です たも す。 です。 ラ 書 を た 切 し \vdash 政 て ラ が モ 場 び 11 上形

73

1 T が DTP ジ ・ョブ

の契

と

7 律

書

面

注

文

で

は

親事

業

者

 \mathcal{O}

義

印

刷

に特化した人材

遣

のは

務 1

請

取

引

遅払期 ま す 十モ の求報 材 人サ 同 運 酬 印 営 月 社 型 ヤ(古門 刷 六月 を開 は 1 平 \vdash 務 DTP界 「DTP ょ を 成 始 慶 に り 展 + 造 特 ま 開 社 化 連 ジ 完 年 L L |長)で L 度 た 専 全 \exists て 門 成 た カュ ブ V ス の果は る人 ら

義

下

請

 \mathcal{O} L

支 保

払 存

義

務 代

代

金

す 交 L 法

る 付

類 義

を

作 2

門 ラ \mathcal{O} 1 フ さ に ピ DTPせ、 イ を クオ 最 展 派 遣 デ 近 ザ レ で L 1 は 材 ナ 政 タ]] 策 紹 ま 関 を B

あ 不 不 \mathcal{O} \mathcal{O} 当 当 付 ŋ 利 \mathcal{O} 代 ま 益 な な す。 P 給 禁 \mathcal{O} 止 ŋ 付 提 (9) 早 止 直 内 (10) 期 供 割 容 要 不 引 \mathcal{O} \mathcal{O} 請 当 木 決 禁 変 な \mathcal{O} 難 済 更 禁 経 止 な す 等 及 止 済 る 手

L

て

ま

を保

するこ

を

目

的

لح

止

8

有

で

支

L

原

材

料

7 名

百

こう 合 相 は 談 た行 下 請 セ 為 が タ 行 わ

03-3251-9390

東れ 京 た

http://www.dtp-jobs.com

検索は

東京 は左記 本は 求 名 は を 現 DTP.最 阪 ゼ 人 に 超 在 特 に 大 口 徴 達 都 え \mathcal{O} 06 - 6261 - 194103-3523-8719 ジ ま 級 円 特 لح L 巻 登 て で。 て 化、 し 彐 て ブ V 関 掲 稼 者 求は \mathcal{O} 載 ま 働 西 案件 人揭 す。 問 巻 者 DTP で 1 数 載 約 لح 合 費 関 兀 万 わ は L 用

日

連

せ

平成27年新春合同賀詞交歓会 1月16日(金) 上野精養軒で開催へ ただいま参加者募集中、お早目に!

ことの ラル」は ラムの教え(シャリ・ハラル(HALAL)とは わ とイスラム原 ることが多く を ま れ 張 (ます。) ってあ 健 音 会が 全般を意味します 教え(シャリーア法 ハラ 全な商品や 「ハラル」とも 問題ですが、「ハ る食品 なりま 理)で許さ マ ラ いう言] りました ク (左 を 活 らした。 ら、イ 頭」の 見 かけ 言 れ ス

ラル 呼 ハラルの 性 にとっては有害な物、 ば のある物を意味し 」あるいは「ハラム」 れ、これらイスラム 反対は て

化粧品なごとに ドライ り と ら 全 な 食 に しハラルとハラムをは 教 式 徒 複雑 な な生 徒にとっては け べ ハ に ま ラル 物 い規準なの 区 れ 認 品や医薬品、介護用ルは食品だけでなく ンであ 異 で 別 活 ば 8 ハラ なりま とは、 難しく、基準も を示すため な 5 飲 す らりま み物 ル ることは り、 品 る こうし です。 す。 無くては せ な ŧ で イ イスラム ど h_o あ \mathcal{O} ス ま 0) は ラ 以 る た、 L ガ た 外 لح 避 Δ

する も 適 E 金

融

ど

様

々なサー

- ビスに

、介護用品、

内

食 L

のメニューとし かし、上記の

てイン

ハラル機

用 な

さ

れ

食べ物や飲

み物に

非 常 つき 玉 か な 安 の正 け 予約することができます。 品 機 ANA & JAL © (in-flight muslim meal)を 機 ANA & JAL O 予約することができます。 (in-flight muslim meal)を ル Ł 一番見つけやすい (Syubhat) は、 内 食品は、実 内 \mathcal{O} 食 食 0 見つけ 実 ム ム は ま スリム スリムミール 機 内 は ŋ 機内 国際 玉 Þ あ 食です。 際 す ŋ ハラル食 食です ユ 便では、 3 便では、 ま ブ ハラ す

ル

特にムスリムにとって口に ハラル(またはハラル) ます。 そこで、 Halal) ? Haram) ハラ 対し が \mathcal{O} 0 ませ う 本 の 来 こと ハ K 来、 ラ 料 ざらな は、 ル が ん。ムス 理 キも て、 多く <u>イ</u>(カ ハラル チャー 内 原 レ 不 け 非 材 なって IJ] -思議 ハラル びがあ メニ れ 料 ムに がが ンや Þ ば 出 で ょ 調 ユ とって、 ・ハラル いため ます。 され は \mathcal{O} 理] 5 方法・とい あ \mathcal{O} る

される」もの

語

• •

ム(または

ュン 満 ょ K た څ چ が料 す あ理 た 以め れ ば 外に さ のは 6 ハ 力 ラ ょ ル メ Þ = で 1

0

ます。 中心とし われてい と勘な 産業に 業とは するも 関 発 教 近 ハ る 近 ウトバウン ンド)と目 わり ラル 年日 しか 徒 年 イスラム 日 1 \mathcal{O} \mathcal{O} 違 本 スラム圏 食品 Ļ 産 で が 訪 日 本 わ 11 \mathcal{O} たるも · る場 でも た 注目 本で 6 は、 日 業 を に 本 , ド) 金 観 \mathcal{O} 分 から 食 ハ 対 製 Ĺ さ は、 ラ 合 光 中 融 野 品 て 注 品 との経 。 目 さ れてきて の Ł サ ル ラ に入りま で が 7 \mathcal{O} (インバ 0 多] る 両 イスラム 広 で \mathcal{O} \mathcal{O} 産 輸 いです 面 義 あ 幅 関 方 れ ビ ル を 出 スを と思 り、 連 済 で で て が] 広 ア ウ 的 す 産 はい 11 多 ルに

るだけで 心います り http://www.halal.or.jp/hal 般 協 社 団 法 人 ハラル・ジ



ル

アー

・ンでの

記

載 な

また、

ハ

ラルと

り

いとは思

間

が ŧ

ム

IJ

 Δ

止

され

る

ŧ

 \mathcal{O}

ア

語..

(ALS) れ が は を 最 あ 被 近 筋 縮 る る と思 世 性 縮 \mathcal{O} 側 性 い動 中 索 側 ま で 硬 画 索 頭 す 化 を 硬 す が見 カュ 症 化 た と る 5 症 氷 は

寄 \mathcal{O} 患 金 者 を 支援 です

No126 健康がいちばん!

筋萎縮性側索硬化症(Als)とは

原因不明の公費負担の対象疾患

てん肉 だ B は 肉 11 < W 呼 や吸 病 か 肉 \mathcal{O} 手 性 を 気せに 足側 ŧ \mathcal{O} で 7 必 索 力 かの す 要 の硬 病 がな ど化 な筋 気 経 症 l < カゴ 肉 カュ で 舌 運 0 は しな が \mathcal{O} $\widehat{\mathbf{v}}$ 運 な 0 だ 筋 性 れの つ

覚 < る 臓 ま < P す な な る 定 機 _ ك るこ ŋ 疾 能 知 患 が な 能 そ 普 تلح 0 لح 九 医 筋 千 療 は 诵 視 肉 方 人 受 で す 力 が ょ す。 で、 が 給 ベ ŋ P B て 聴 者 せ 数 保 力 体 T \mathcal{O} 病 カゝ た OV. 内 感 き 気 6 れ

見特 患 0 7 ま

に 多 ٧V の の 病気 です は か بخ の ょ う な

特い歳やがの ځ 世 代 す あ 年 \mathcal{O} ŋ ベ 男 定 لح て \mathcal{O} 代 で 11 ŋ 齢 病 女 は 職 で す 年 ま \mathcal{O} 気 1 比 性 業 \mathcal{O} は あ す 人 は 中 2 発 で ŋ 層 が \mathcal{O} ま 多 男 年 Ł ま 人 症 5 れ は < 性 に 1. せ ŧ に 六 最 か 以 が 多 ん。 ŧ \bigcirc か 降 あ Ł 8 女 るこ 5 3 11 り 0 カコ 11 ま 性 ま と ず لح 七か 倍 若 す で

て V る 0 の 病 で 気 す の 原 因 は わ か

? 11 化 因 ま لح は 関 酸 す 不 明 連 代 さ が で 謝 5 あすか に る が に 異 は と 常 興い神 奮 わ経 0 で て

老

原

て

さど

ア

常

ゆ

ŋ

長

期

力 わ を が 5 動 弱 な はなカ あ 出 ル 7 V ま あ ŋ せ が ま あ Þ す る フ が IJ] \mathcal{O} 様 結 ラ

> 論 Þ

多

<

 \mathcal{O}

合

は

遺

伝

L

る ま う

カン

足

لح

い 脳

う

令

が 手 け

伝

]

口

が

分はで、 と 要ばに いせ 呼 か家 は ま 同 は ず そ 族 ľ ば 9 全 あ て 遺 病 れ 内 体 り \mathcal{O} 両 で ま 気 兄 親 て 伝 弟 ŋ 発 中 せ \mathcal{O} \mathcal{O} \mathcal{O} 11 1 ま 症 \mathcal{O} 心 人 W ず 家 す お が 配 祖 族 る ょ そ を 1 父 れ ことが % 性 \mathcal{O} す な 母 か Ś け な あ 方 必れ تلح

過 を たどるの ک の 病 気 です は どう ٧V う 経

うこ で、 7 侵 て ど ま Ł 亡 大 呼 さ \mathcal{O} す 多 لح L 吸 れ B 部 \mathcal{O} ま が 数 筋 分 は 症 病 す。 \mathcal{O} 最 7 あ \mathcal{O} 気 0) 方 ŧ 後 は 筋 ŋ が は 病 ま は は 全 軽 働 肉 人 常 身 カコ < 気 工 呼 カュ 呼 せ 呼 吸 な 吸 \mathcal{O} 6 W な ると 進 吸 < 筋 カュ 不 \mathcal{O} 器 全 な 筋 カュ 肉 ま 体 で が ŋ 性 を 0 肉 0 \mathcal{O} 11

におて使死 は ょ か わ そ 5 な Ι. 死 5 亡 場 ま 吸 合 \mathcal{O} 五. 器 年 で で の病 を 間 使 す 期 気 わが間 に な わ は な た い中お 0

> と 者 な さ あ 過 そ Z な ん ること ŋ で \mathcal{O} ごとに λ ま た す。 ま 吸 方 に تلح で で、 即 不 る す あ 経 重 例 L 全 た 要 過 を ŧ ŧ な き 対 が 0 あ 応 個 大 点 た n き す 早 が Þ は ま < 患 例 必 \mathcal{O} 1 す 要 患 異 者 Ł

状 が で の ま 病 す 気 は بخ の ょ う な

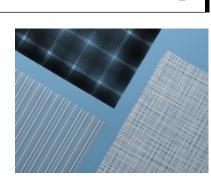
症

とで 肉 け を で Ł 弱 が て い ŧ, 出 \mathcal{O} 力 含 لح < あ 多 き 力 ****\ < 水 < が 8 ŋ 食 始 な が な ま う さ やに が は て P ま り \mathcal{O} < < ŋ 症 B え 食 入 全 が す 物 ŋ 場 11 , 5 ま 6 て 状 ま 合 身 が 筋 肘 なく す。 物 す はか ŋ な \mathcal{O} はい で \mathcal{O} 肉 カュ ず < ŋ 6 筋 呼 始 4 が な 先 \mathcal{O} な 肉 吸 れ ま 込 話 P 構 る ど る み が \mathcal{O} \mathcal{O} み せ \mathcal{O} 指 L と 音 \mathcal{O} Þ 場 に に 筋 る 力 \mathcal{O} 4 障 声 筋 下 歩せ 肉 が 使

http://www.nanbyou.or.j

ガラス装飾フィルムの新アイテム発売 「ウインコス デコラティブフィルム」





れる テム 黒 定 -ンコスの色のデ の 白 ザ 色 印 イ 刷 ン パ の ター 新 柄 ン そ を し あ し て 6 個 性 つ あ た ア Š

イ

シリムで 揮 ガラス破損 ウ が す でコ る - 5000 PET フィ 1 ヹ スト をライ 時 パ \mathcal{O} シ デ ル フォ 破 IJ Δ コ ン 片 ラ ま ア] \mathcal{O} ズ」 たは テ ツ 飛 7 イ ンス と、 散 ブ フッ 防 フ 基材 に 止 素フ イ 対 優 ル が 策 れ イ ム 塩ビフィ た 劾 ル 果を は、 ム で、 発 基

て、 L 従 今 兀 層 5 来 定回 柄 広 つ 品 番 そ げ たに の 白 れ に 5000 シリ る フ は 以 0 イな 色 印 T ル 1 刷 内 は 柄 Δ 黒 外 な色 を 1 貼 計 施 بخ ズ」 ŋ 貼 0) タイ デ ŋ L 兀 タ 空 ザ た \mathcal{O} . 点 1 間 1 新 新 . を プ 演 柄 T ŧ パ ラ 出 に 1 ラ 1 タ 加 テ \mathcal{O} ン 1 えム、と 1 幅 ア ンを と を ツ 当 ょ L

あ

社

ライ 柄、 ム フ ま ンア 1 独 ざ \mathcal{O} ル 特 ま ´ップ、 象柄 新 ム \mathcal{O} な ヮウ アイテム 装 デ こなどデ 飾 ザ この イ を 1 ン 施 ン ヂ パ ほ لح コ す ر ح 1 ど ス タ 発 ン て 売 性 デ がン ス 豊 1 コ で を ラテ ライ きる ま か あ L な し イ た プ ガ 5 柄や編 ラスた 柄 装 輪 り

明

に六 貼 八

ることで光の透過を柔ら

カゝ ク 0) IJ < 抑 T

Ż ガラ **7**3

た

ŋ

目ル

七七六〇)では、窓など

 \mathcal{O}

テック(文京区

後

楽 <u>ー</u>の

 \equiv

ス八

飾

な

3

ほ

المح

ず

新

製

品

工 例 とデザ イン)

> た 柄 など白 Þ か な スト 黒 の 色の違 ライ · プ 柄 ٧١ も含め二 や竹林をイ メー

ジ

柄 を ライ ン ア

0

プ 揮 製品幅は全アイテム共通で、 様 ĺ ⁻MST-5124 ブラックバ MST-5121 ブラッ 度 す ジした「MST-5114 バン MST-5117 新 0) る、 東南 ま が 発 異 売 た。 アジアなどの なる する 広幅 MST-5111 ゼブラライ 白 \mathcal{O} 仕 色 様 は スト \mathcal{O} 1 mmク 1,525mm ホ 海外 ラ ヘン ン イプ ワ 幅 市 ブ プ

、 لح $1,250 \mathrm{mm} \ \%$ اَ 場で優 柄 2 mmを をライ など二〇 竹 麻 あ ホ 位 林 \mathcal{O} L ワ ン 性を を 5 1 布 \mathcal{O} ア 不 イ プ 地 0 1 柄 発 欧 模 メ た透

散外を 詳防線採 でも 従 力 用 粘 細 止 来 着 0) 対 ツ は ホ 策 1 室 力 が 効 効 内 1 果も 果 調 低 Δ 度品 P \sim 下 1 発 L ij ジ 揮 ガ \mathcal{O} な 1 ラス で 退 11 ズ ま 色 耐 破 す 防 湿 لح 損止 タ 同 時 に イ 様 寄 \mathcal{O} ブ 破 与 \mathcal{O} 高 す 粘 湿 片 る \mathcal{O} 着 度 飛紫 剤 下